

令和2年度 第5回 地方独立行政法人長崎市立病院機構 理事会

【議事抄録】

- 1 日 時 令和2年5月28日（木） 13時30分から16時15分
- 2 場 所 長崎みなとメディカルセンター 醫聖ホール
- 3 出席者 11名
 - 理事会組織構成役員出席者数 8名
片峰理事長、門田副理事長、増崎副理事長、草野理事、森理事、荒木理事、
原理事、福崎理事
 - 監事 2名
白石監事、川崎監事
 - 有識者 1名
廣瀬弥幸氏（経営戦略アドバイザー）
- 4 審議事項1 令和2年度 第4回及び臨時理事会議事録の確定
5月14日に開催した第4回理事会及び5月19日に開催した臨時理事会の議事録について、事務局案に対して特に異議はなく確定した。
- 5 審議事項2 運営会議規程の制定について
運営会議を設置することについて事務局から提案があったが、議決の有無など運営会議の位置づけを明確にする必要があることから、再度検討することとなった。
- 6 審議事項3 適切な保険診療に向けたタスクフォースの設置について
担当副理事長から、2か月で本院における保険診療を分析し、必要な見直しを提言するタスクフォースを設置すると説明があった。
- 7 審議事項4 病床再編について
副理事長兼院長及び担当理事兼看護部長から、今後の病床編成についてシミュレーションを基に説明があった。
- 8 審議事項5 高度看護業務手当の新設について
手術後や心肺蘇生後等の重篤な患者、早産児等の看護について、看護師の心身の負担に応える目的で高度看護業務手当を新設したいと事務局から提案があったが、支給要件の明確な基準を決定する必要があるため、再度検討することとなった。
- 9 審議事項6 医師の突然死裁判について
担当理事から本件について説明があり、今後の方針を決定した。

10 審議事項 7 医師の働き方改革に関するタスクフォースの設置について

担当理事から、医師の時間外労働時間の把握を行い、労働時間の適正化を図り、働きやすい環境を作ることを目的として、タスクフォースを設置すると説明があった。

11 報告1 経営状況について

事務局から4月・5月の病院全体の経営状況及び診療科別の入院患者数等について報告があった。

12 報告2 ベッドコントロール方針について

昨年度立ち上げたベッドコントロールWGで決定した事項について、グループ長である救命救急センター長から報告があった。

13 報告3 費用削減対策に関するタスクフォースの取り組みについて

担当理事から、費用削減対象の予算項目と削減目標額の目安について報告があった。

14 報告4 令和2年度診療報酬改定の影響について

事務局から、令和2年度診療報酬改定による収益見込み等について報告があった。

15 報告5 議事録の署名・捺印について

理事会議事録については、理事会において確定することから、特定の理事による議事録への署名・捺印は行わないこととすると事務局から報告があった。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。